

東京都市大学等々力中学校・高校



新校舎の外観

五島育英会が東京都世田谷区に建設を進めてきた東京都市大学等々力中学校・高等学校の新校舎が完成し7日、現地施設内で竣工式が開かれた。建築主や工事関係者らが出席し、同校の新たな学舎（まなびや）の誕生を盛大に祝った。

旧校舎の一部を再利用して建設した新校舎は、五島育英会総合計画室と東急設計コンサルタントが設計を担当。東急建設が施工した。

施設規模はRC造5階建て延べ6320平方メートル。1階に実験室や家庭科室などの特別教室、2〜4階に普通教室やサテライト職員室などを配置した。5階には学生のくつろぎの場となるラウンジや220人収容の

環境配慮の新たな学舎

五島育英会・竣工式 設計＝五島育英会総合計画室、東急設計コンサルタント 施工＝東急建設

多目的ホールを設けた。環境にも配慮した施設プランとし、各階2カ所に備えた吹き抜け空間からは自然の風と光を取り入れる。また、断熱性を高めるため、窓には複層ガラスを採用した。

式典では同会の山口裕管理理事長や東京都市大学の中村英夫総長・学長、東急設計コンサルタントの水沢一夫専務、東急建設の清水昌博建築総本部長らが玉串を捧げ、無事故・無災害での完成を祝った。

続いて、同校の海老原大樹校長は「皆さまのおかげですばらしい校舎ができ、教職員や生徒も大変喜んでいて、これを機にますますの向上に努めたい」とあいさつした。

同校のキャンパス整備プロジェクトは今後、既存校舎の改修やグラウンドの整備などに入り、2011年3月に全体完成を迎える予定だ。

多目的ホールを設けた。環境にも配慮した施設プランとし、各階2カ所に備えた吹き抜け空間からは自然の風と光を取り入れる。また、断熱性を高めるため、窓には複層ガラスを採用した。

式典では同会の山口裕管理理事長や東京都市大学の中村英夫総長・学長、東急設計コンサルタントの水沢一夫専務、東急建設の清水昌博建築総本部長らが玉串を捧げ、無事故・無災害での完成を祝った。

続いて、同校の海老原大樹校長は「皆さまのおかげですばらしい校舎ができ、教職員や生徒も大変喜んでいて、これを機にますますの向上に努めたい」とあいさつした。

同校のキャンパス整備プロジェクトは今後、既存校舎の改修やグラウンドの整備などに入り、2011年3月に全体完成を迎える予定だ。



明るく開放的な5階学生ラウンジ

無断転載禁止

著作権は建設通信新聞に帰属します

転載承認済

東京都市大学グループ
学校法人 **五島育英会**